

令和7年度 徳島市上八万中学校 総括評価表

重点課題	重点目標	自己評価		学校関係者評価	次年度への課題と今後の改善方策
		評価指数と活動計画	評価	学校関係者の意見	
確かな学力の育成	主体的に粘り強く、学習に取り組む生徒の育成	評価指数	評価指数の達成度	総合評定 (評定) B (所見) 主体的に学習に取り組む生徒の育成に力をつけたいが、主体的に教員が意欲を持って取り組むことが必要で、生徒の徹底が求められる。生徒の徹底に課題が残る。生活の徹底が将来の生い立ちや体験活動に授業者が考えることや、職業教育が充実している。生徒たちは理解している。GIGAスクール端末については、新しい端末での今後を期待したい。	<p>〈自己評価結果について〉 A 適切である 25.0 % B 概ね適切である 75.0 % C 適切でない 0.0 %</p> <p>様々な工夫をして、先生方が学力向上に携わってくれていることがよくわかる。提出物や学習時間の確保など、もう少し、子どもたち自身の行動が向上してほしいと感じた。</p> <p>〈今後の改善策について〉 A 適切である 50.0 % B 概ね適切である 50.0 % C 適切でない 0.0 %</p> <p>タブレットの使用にあたり、様々な問題点があるので子どもたちの指導を工夫してほしい。紙に書くための筆圧の問題や書いたものを見返す等で問題はないのか検討していきたい。 学力の向上に向けて、タブレットを使いこなす力もアップさせてほしい。そのためにも、一人一人にあった指導を工夫してほしい。</p>
		<ul style="list-style-type: none"> ○「今日のめあて」を必ず板書し、本時の目標を確認している。 ○授業の終わりに本時の振り返りの時間をとっている。 ○深い理解や考えの形成・再構築を促すペア・グループ活動等を行っている。 ○ICT活用、板書、ノート指導、発問の仕方等に工夫と改善を加えている。 ○校内研修を実施し、授業力向上に努めている。 ○指導と評価の一体化を図り、学習評価を適切に行っている。 	A 31.3 % B 62.5 % C 6.2 %		
		<ul style="list-style-type: none"> ○GIGAスクール構想の趣旨を全教職員が共通理解している。 ○個人端末を活用した授業が展開されている。 ○個人端末を家庭での学習に活用させている。 	A 0.0 % B 68.8 % C 31.2 %		
		<ul style="list-style-type: none"> ○全体計画に基づき、組織的・計画的にキャリア教育に取り組んでいる。 ○地域・保護者と協働し、有意義な職場体験を実施している。 ○将来の夢や希望の実現のための進路相談を丁寧に行っている。 ○外部講師等を招いて職業講話等を実施している。 ○今の学びを社会や人生と結びつけ、学ぶことの意味を考えさせている。 	A 31.2 % B 68.8 % C 0.0 %		
	活動計画	活動計画の実施状況			
	①「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善の推進	校内研修で意識改革をした。			<p>〈課題〉</p> <p>①教職員の負担感を増やさずに継続した研修を計画的に展開するかが課題である。 ②個人端末やその通信環境の不備や不具合により活用が十分にできなかったが、タブレットがiPadになったのを機会にどのような研修を行うかが課題である。 ③職場体験や外部講師を招いての講演等からの学びをいかに社会や人生と結びつけていくかが課題である。</p> <p>〈改善方策〉</p> <p>①校内研修のあり方について検討とともに、凡事徹底を推奨するしくみを学校の中で定着させたい。 ②GIGAスクールの関連の各種研究会や研修会に積極的に参加し、教員個人や各校の知識技能の高めるとして、本校の活用方針を作成する。 ③将来をえがく力を身につけさせるためにキャリア教育を軸に据えたり、リキョウマネジメントを行い3年間を見通した取り組みを行う。</p>
	②GIGAスクール構想の実現に向けた取組の推進 指導主事訪問での研究授業	学年全体で取り組めた。			
	③将来をえがく力を身につけさせるためのキャリア教育の充実	組織的な取組を行えた。			
豊かな心の育成	豊かな心と環境の育成	評価指数	評価指数の達成度	総合評定 (評定) A (所見) 豊かな心の育成を目指す各学年に応じた人権学習や道徳の授業を展開することができた。日常の中で人権が大切にできる集団づくりに取り組めた。オープンスクールの発表も成果を上げた。安全で衛生的な教育環境の構築に向けて生徒と教職員が一体となって美化・清掃に取り組むことができた。全体的に自分からのあいさつ運動や清掃活動ができ、場に応じた言葉遣いもできている。生徒アンケートにおいては「概ね自分のことが好きである」生徒は昨年度の51.4%から、72.8%と、21.4pアップしている。これは自己肯定感や自尊感情の育成に大きく関係している。先生方の言葉かけにより、成長している子どもたちの様子が指標となって現れた。信頼できる友人の存在(95.8%)や、体験活動実践活動でのよい影響(84.0%)も指標となって現れており、豊かな心の育成に貢献している。	<p>〈自己評価結果について〉 A 適切である 100.0 % B 概ね適切である 0.0 % C 適切でない 0.0 %</p> <p>日常の中で人権が大切にできる集団づくりやオープンスクールの発表も成果が出ている。人権教育の大切さもわかってきており、生徒の心も豊かに育っていると思う。</p> <p>〈今後の改善策について〉 A 適切である 100.0 % B 概ね適切である 0.0 % C 適切でない 0.0 %</p> <p>いじめの問題や、他人のことを思いやる子どもを引き続き育ててほしい。自己肯定感や自尊感情が育っていることは、人権教育をよくしていることや、様々な体験活動、地域との交流も含めて、成果の表れであると思う。来年も「自分のことが好きである」子どもたちを育ててほしいと思う。人権教育や道徳教育の中で公衆マナーについてもほしい。</p>
		<ul style="list-style-type: none"> ○全ての教育活動において人権尊重の精神の涵養をめざしている。 ○日常的に人権の大切さが実感できる集団づくりに取り組んでいる。 ○道徳教育において体験的な活動を積極的に取り入れている。 ○特別活動において自己有用感を高めるよう努めている。 ○いじめ防止基本方針に基づきいじめ防止に取り組んでいる。 	A 50.0 % B 50.0 % C 0.0 %		
		<ul style="list-style-type: none"> ○自分から進んで大きな声であいさつができるように指導している。 ○場に応じた適切な敬語が使用できるように指導している。 ○職員室・校長室等への入退室の仕方について指導している。 	A 50.0 % B 50.0 % C 0.0 %		
		<ul style="list-style-type: none"> ○清掃の時間、すべての教員が指導にあたっている。 ○教室や廊下などの掲示物が美しく掲示されている。 ○教室や廊下などの備品等が整理されている。 ○地域の清掃活動に参加するなどして、地域の環境美化に努めている。 	A 62.5 % B 37.5 % C 0.0 %		
	活動計画	活動計画の実施状況			
	①安全で衛生的な教育環境の構築	全校体制での取組に努力した。			<p>〈課題〉</p> <p>①人権オープンスクールを引き継ぎ、平日開催で、たんぼぼコラーや上中太鼓など、地域の文化や大切にも故郷を愛する豊かな心づくりに欠かさない。モチベーションを下げないことが課題である。 ②PTA全校一斉除草作業は雨天中止となった。今後も実施していくか課題である。 ③生徒会活動・委員会活動を活発にしていくための方策を考えたい。</p> <p>〈改善方策〉</p> <p>①R8県人会での発表、R9の道徳大会の会場校として、実践を進めるに当たり、研究会などの機会を設け、モチベーションを下げないような学校づくりを行う。 ②実施時期や時間、実施方法などを検討し、やりがいのある行事とする。また、保護者や地域の方の力を借りて、教育環境の整備を行う。ととも、生徒会活動の活性化を図る。ととも、生徒の教育活動で身につけていく。</p>
	②豊かな心を育む教育の推進	全校体制で取り組めた。			
	③適切な言葉や態度を身につけさせるための指導の充実	全ての教育活動で推進した。			

